

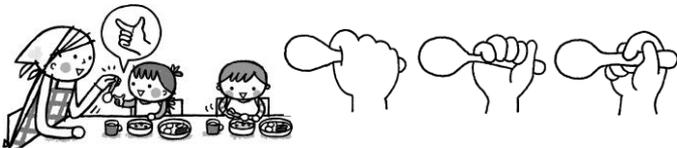


秋風が心地よい季節となりました。進級して約半年が経ち、友達との関わりも増えてきましたよ。子どもたちを見ていると「はいはい〜！」と頷きながら片手に電話の玩具を持ち、何かを書く真似をしたり…「待ってて！あと20分で焼けるから！」とおままごとを楽しんだり…身近な経験が遊びの中で生かされているようで、大人のことをよく見ているのだなあと、驚かされます。

また、これまで「せんせい、できない〜！」だった身の回りのことが、少しずつ出来る様になって来ました。上手い出来ないこともまだ多いのですが、「手伝って！」と保育者に言えるようになったり、その様子を見て、友達が手伝ってあげる姿にも成長を感じます。子ども「だから、ではなく、子どもたちの力で、なんとかしよう！」とする姿はたくましいです。ついつい、やってあげたくなるようなことも、保育園ではお子さまが1人で頑張っていることであったり、部分的に手伝うことで、解決することかも知れません。ぜひ、お家でも「どんなことまで出来るのだろう、と見守ってあげてください。それは、お子さまが助けを必要とした時に、自分の気持ちを言葉にする力にも繋がると思います。また、少しずつ涼しくなってきましたので、ぜひ戸外に出る機会を作ってあげてください！坂道やデコボコ道なども沢山歩き、元気に過ごせる体づくりも一緒にしていきましょう！

10月の目標

- ・正しい食具の持ち方を知り、自分で食べようとする。
- ・秋の自然に触れながら、戸外の遊びを楽しむ



◎衣服や靴について

お子さまが自分で着脱しやすい物か、再度ご確認をお願いいたします。伸び縮みにくいズボンや、被ったときに頭が出しにくいシャツ、サイズが小さいもの等は、お子様の自分でやる！という気持ちも折れてしまいます。出来た！という達成感に繋げてあげられるよう、ご協力をお願いいたします。

☆トイレトレーニングについて☆

保育園では、パンツを履いて生活する子が多くなってきました。段々と感覚が身に付き、「おしっこ！」と教えてくれるようになってきましたが、お家での協力が必要です！お休みの日等、トイレに行きたい！時の仕草を見ながら、誘ってあげてください。**イヤ〜！**となってしまう時は…遊んでいる玩具を手放すのがイヤ！今はおしっこが出ないから・パンツよりもオムツの気分だから・別の柄のパンツが履きたい！から等…理由があるのかも知れません。一度受け止めてもらえたことで切り替わる時や、何もかもイヤ！なときは、「またご飯の前に声掛けるね」等と伝えたり、思わず笑ってしまうような、前向きに気をそらす声掛けをする等、色々試しながら取り組んでいますので、ご協力をお願いいたします☆



～なに？どうして？～

「せんせいなにしてるの〜？」「(絵本を見ながら)これなあに？」最近、子どもたちは色々なことに興味を持ち、保育者に尋ねてくる様子があります。そんな時は、子どもの好奇心や興味・関心が広がるチャンス！出来るだけ丁寧に答えてあげましょう。今は、こんなことを不思議に思うんだと2歳児の視点で感じることは、大人にとっても面白い気付きがあるかもしれません。

また、保育園では食事の際に「どんな味がする？」等と聞くようにしています。この時期の子どもたちは、言葉とその感覚が結びつく発達の途中。些細なことかも知れませんが、「甘いね」「シャキシャキするね」等と具体的に表現することで、感覚として覚えていきます。また、友達との関わりでは「どんなお顔をしているかな？」「悲しいお顔をしているね。」等と、想像するきっかけを与えることも大切にしています。子どもたちが感じたことや、考える機会を一つずつ大事にしていけると良いですね。